

ヒメフタバラン	<i>Neottia japonica</i> (Blume) Szlach.	絶滅危惧Ⅱ類
		ラン科
選定理由	生育地が限られていて個体数が少ない。	写真(山崎玲子) 
形態の特徴	高さは3-10cm。葉は卵状三角形。花は紫褐色。唇弁は長さ6-8cm。くさび形で2深裂し、線状で長さ3-5mm。花期は他のフタバランより早く4月。	
生態的特徴	山地の針葉樹林下に生える。	
分布状況	本州、九州、四国、沖縄に分布する。岐阜県では美濃地方東南部に分布する。	
減少要因	人の踏み込みや木の伐採、開発などによる環境の変化による。	
保全対策	環境を大きく変えないことや分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項	別名ムラサキフタバラン。	
参考文献		

文責:山崎玲子